

平成25年度 第4回中国地方整備局事業評価監視委員会 審議一覧表

【再評価】

NO.	事業種別	事業名	事業概要	経緯	該当要件	対応方針 (原案)	備考
1	砂防	広島西部山系直轄砂防事業	<p>広島西部山系は、人口・資産・公共施設等が集中し、山陽自動車道・新幹線等の近畿と九州を結ぶ重要交通網が横断する社会経済的に重要な地域であるが、昭和20年の枕崎台風や昭和26年のルス台風による災害、平成11年6月29日の土砂災害など、繰り返し大規模な土砂災害が発生している。</p> <p>一方で、都市化に伴い宅地開発が山麓斜面に進展しており、土石流による災害が発生する危険性のある渓流が非常に多く集中している。</p> <p>この地域では、土石流の氾濫が予想される区域に重要な多くの保全対象が分布しているが、土石流による被害は広範囲かつ甚大になる可能性が高いことから集中的に土石流対策を推進する必要がある。</p> <p>平成11年6月29日土砂災害を契機として、土石流による人的被害、家屋被害、重要交通網の交通途絶等の被害を軽減することを目的として、平成13年度から国による直轄砂防事業を開始した。</p>	平成13年度 事業化	再評価後3年経過	事業継続	
2	道路	一般国道2号 福山道路	<p>一般国道2号は、大阪市を起点とし、広島県福山市などの諸都市を経由し、北九州市に至る延長約670kmの主要幹線道路である。</p> <p>福山道路は、福山市中心市街地の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした道路で、現在、福山市瀬戸町から赤坂町の約3.3kmについて整備中である。</p>	平成13年度 事業化	再評価後3年経過	事業継続	
3	道路	一般国道183号 鍵掛峠道路	<p>一般国道183号は、広島県広島市から鳥取県米子市に至る延長約190kmの広島県と鳥取県を直接結ぶ唯一の主要幹線道路である。</p> <p>鍵掛峠道路は、並行する一般国道183号の要防災対策箇所、事前通行規制区間を回避し、地域の安全・安心の確保及び異常気象時の孤立回避、救急医療活動の支援等を目的とした延長12.0kmのバイパスである。</p>	平成17年度 事業化	再評価後3年経過	事業継続	
4	道路	一般国道185号 安芸津バイパス	<p>一般国道185号は、広島県呉市から広島県三原市に至る延長約72kmの主要幹線道路である。</p> <p>安芸津バイパスは、異常気象時の高潮や越波による路面冠水を回避することを目的とするとともに、また、道路幅員が狭く、急カーブなど線形不良箇所が多数ある現道において、朝夕の渋滞などを解消し、安全性・利便性の向上による地域経済の活性化・産業活動の効率化などを目的とした延長約6.1kmのバイパスである。</p>	平成11年度 事業化	再評価後3年経過	事業継続	
5	道路	一般国道491号 長門・俵山道路	<p>一般国道491号は、山口県下関市を起点とし、山口県北西部地域の内陸部を通過し、山口県長門市に至る延長約50kmの主要幹線道路である。</p> <p>長門・俵山道路は、平行する一般国道491号や(主)下関長門線等の要防災対策箇所、事前通行規制区間を回避し、地域の安全・安心の確保、異常気象時の孤立回避、救急医療活動の支援等を目的とした延長5.5kmの道路である。</p>	平成20年度 事業化	再評価後3年経過	事業継続	